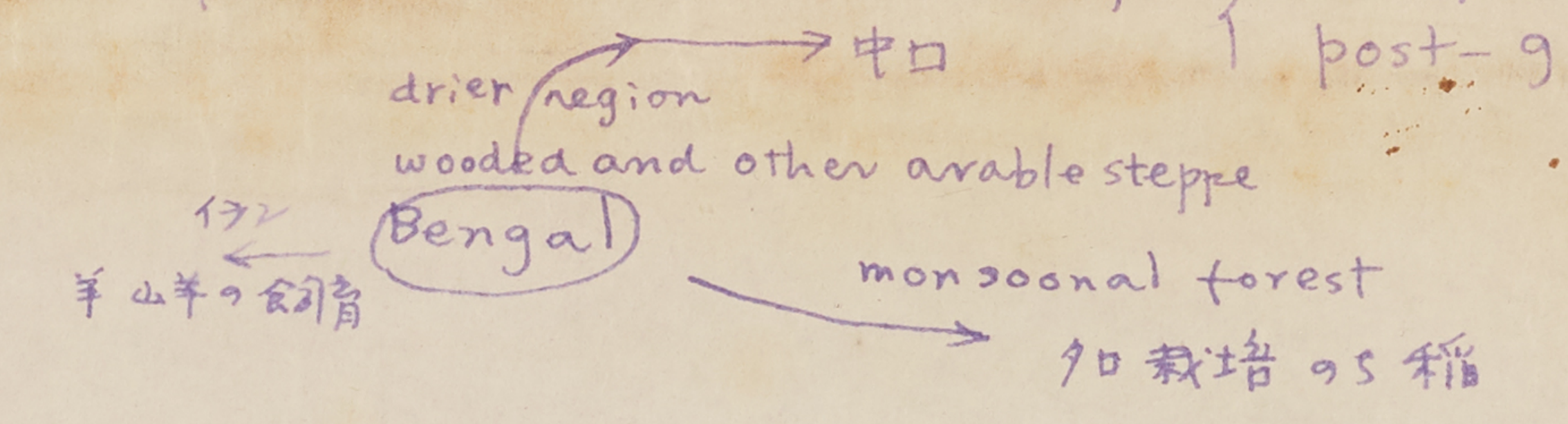
研究会記録　　1960年 2月 16日　　於人文分館

H.v. Wissmann : On the Role of Nature and Man in Changing the face of the Dry Belt
R. Coulborn : The Origin of civilized societies
の紹介

~~Ima~~ Uey　所有権を記す文字はどこから生れたのか。共同体だと文字ないはずですが
Kaiz　シュメールでは商業の発達、ギリシャでは帳面づけに使いはじめる~~のだ~~ 大きい神殿ができて来ると貸借簿づけが始まる
Kaw　そのばあい土地とか家畜の所有権はどういう風にしてつけるのか　家畜ならイヤーマークとかか、ですか
Ima　蒙古はイヤーマークをやってます．土地所有の前にあります
Kaw　やっぱり税金つけとか商業のかしかり勘定からやろう
Ima　家畜やったら　それはわしの家畜やいうことは知っとるしな．
Kaiz　隊商が通るのに税がかけられる　隊商への通過税は可成り重要なものだと思う．

H. v. Wissmann ~~の紹介~~ On the Role of Nature and Man in Changing the face of the Dry Belt
の紹介．　紹介者　谷

1. 気候変化と植相の変化について
氷河期とその後の気温変化による ~~[illegible]~~ ヴェジテーションの変化を世界の各地にわたって概観す"
3. ~~森林限界 今日~~
2. 文化発生とその伝播
イ　沿岸地域とくにBengalのmoist tropical forestで fishing, mussel collecting, ~~天水農業がおこる~~ tuberplanting, domesticating（豚・犬）がおこる．　BC. 13000 ～ 9000年に発生　last glacial period末
氷河期以後海面の水位上昇のため海面下にあって発見されないだけのことである。
この文化が海岸沿いに東西に伝播する．{ BC 7000 ～ 5000. post-glacial ～ Thermal maxmum



ロ　内陸地域　沿岸より生産技術の伝播をうけて、北インド
東イラン
メソポタミア } キビの栽培 { irrigation a
天水農業

Uey　さきに省略していた気候変化と文明の成立との関係ちょっと大事だと思う　クールボーンは ice ageの末期 15000 BC頃 現在ステップになっているところに文明がおこったとする
Ima　ice ageから Thermal maximumへと移る　カラコラムでも現在氷河の地域に木がはえていた根跡がちゃんとあります．

Sauerの見解を引用　最初の生産技術の発生地　moist tropic Bengal 周辺南アの沿岸
special fisherでなく．fishingとhuntingをともにやる連中
Smollaの見解を引用　貝採集民の重要性を強調 → 犬豚の飼育
→ planting } 西へ地中海へすすめた
BC.13000～9000
この伝播は Bengal.— India.— south Arabia — East Africa — Nile流域へと伝わり非常にスピードが早い
migrationをした人種　Gondid
Aethipoid } Europoidに属する
Gondidは専業的農耕民

Kaiz　日本は縄紋式時代は採集

小羊、羊の飼育
穀物栽培 } の発生について　羊．山羊の~~起源~~飼育
穀物の栽培 } wooded steppe　北西インドのステップ
西アジアの山岳地帯 (6000 B.C.)
この生産様式への刺激は tuber planting
tuber planting → millet small cereal → cereal crop farming
~~tu~~
のラインを追う

Ind-Iranian border range から
西への伝播 → central Iran irrigation — mesopotamian irrigation (city文化)

穀物生産 → 小麦
東への伝播 → 中央アジア → 中國黄河流域　淮河の北（ここで夏長いため二毛作可能
東南 〃 → 東南アジア → 南支

騎馬民族の出現.
その後 steppe farming の地域で好戦的種族の発生.
そのoriginは steppe farmer でなく山地の tribes（トランスコウカシア 北西イラン）
戦車使用不可能のため騎馬
→ 山地 tribes が steppe 地域を支配する.（江上氏は乾燥地帯にorigin）
その重要な例 スキタイ. 烏孫 犬戎 匈奴

騎馬民族の出現により steppe の膨張と収縮の繰り返しが始まる　この拡大の契機は leader の出現

Waz 初期の生産技術の発生を Bengal にもっていっているが、それは熱帯湿潤ならばどこでもよいのか. それとも Bengal に特殊事情があるのか.
Tan 分布から推測しているようだ
Kaiz 馬、牛、羊はどこから入るのか
Ima 豚は人になじみやすい. 牛尾の話やとっこのこ出て来てエサもらいに来るという（東南アジア）
一度にげた奴が又もどってくるのとちがうか
Fuj 東南アジアの豚はキバがちょっとまたらイノシシになる様な奴や　サイパン島に ~~日本~~軍が入ったらカンヅメ工場が出来たそうや.
Ima アジアに Bengal から来る Route で南からじりじり入る route は考えられないか.
Kaiz ~~チベット ビルマ~~ 中国、インド、ビルマ、チベットは言語の構造がチベット系 中支 雲南を通ってくる route が考えられるだろう
Ima ウイットフォーゲルは neglect しているが焼畑で steppe を通じに東南アジアから日本に入る route が考えられるだろう
Kaiz 焼畑は朝鮮 火田民 ナム田 ナム畑 ~~とくに南支には~~
Ima 静岡 紀伊半島 四国 九州の熊本 宮崎 山全部焼畑. 今はコルジュだが 山の斜面に畑をつくっている　アワキビ というものはなので 乾燥に強い.
Kaiz 殷でキビと云う言葉を黍とかくけれども『』とかいてあるキビは水がいらぬ系統から来たかも知れぬと思っている

東洋社会区画の説明

~~steppe ←→ forest~~
~~oasis~~

~~[illegible]~~

~~Kaw~~ ~~提示~~
Kaiz これはいつの気候図ですか.
Kaw 現在の気候区分です
Uey どこまでさかのぼれますか
Kaw Alexander がとおったころのとおときカスピ海あたりから wave あったかも知れぬ
Uey B.C. 6000 年までもっていけますか
Ima ほぼほぼちがう tropical なところなどはせっかく推知ねる
Kaiz 農業などに関係する温度はどうなるかな
Kaw 50 以上
Kaiz ~~それを~~ そうすると微妙なずれになる それが B.C. 6000 年までもっていけるか
Uey 温度が上がると desert がひろがる
Fuj 森林地帯が上がると下るくらいちがいますか　~~安~~ 中間氷期になってからな
Ima thermal maximum が B.C. 13000 − 9000 今より温度が高かった それがだんだん今の様になって来たのやから 氷河の影響をあまり考えでよいでしょう
Kaiz B.C. 800 年の温度の低下はどこで検測されたのか 年輪とかどういう方法ですか
Ima それについて一度今信用出来るのは花粉分析なんです 氷河の後に泥盤ができてくる ~~それに~~ 泥炭がつみ重なったするとそれと一緒に花粉がうもれる その花粉で climate の変化がわかる. 乾湿と寒暖と両方が 800 年のそれは周期的なものとはちがうでしょう
Kaw B.C. 800年のはいわゆる trend だろう
Uey それでは沙漠などでの oasis の分布がかわってきませんか civilization を環境から説明してゆくときこれが問題になってくる

Thermal max といわれる森林限界は今のものより 200 〜 500 km 北へ上がるという 高度にして 400 m 位. 緯度にして 1°
Uey 詳しいことはネグリジブルですね ああいうことはかいておくことが必要ですな
Ima civilization の発生を climate で説明するのは冒険の様に思う
Fuj climate で説明しているのは ~~[illegible]~~ ではないだろうな

Ima　いや optimum climate がつづいたから人口が増えたのかね そういう風に云う場合のことや
Fuj　[illegible]はそうですね
Kaiz　文明の発生にもいろいろ條件があってね こうりP なんか いかんのやろ 人口の増加がそれまで
むつかしいやろ そういうものも発展に大きいものだったんだ
Uey　それでは [illegible]やりませうか
Ima　うん これで 最後に(おさえ)ておきたいことはや 今 厂史的 唯~~革と~~命でそうなっていると
それって 文明の起源を Bengal にもってくるのは 細信やかんな
Uey　Bengal を起原とするのは data をとって時代順の上で早いとするわけですか
Tan　そうです
Ima　そうやから紹介してくれたんやけど この一番問題になる Bengal でなぜおこったかを深く
掘りさげてないということや. ~~[illegible]~~
江上の方が詳しい アジア、民族の形成 充実した本やで.

Ueyama 紹介 Coulborn: The origin of civilized societies の紹介

目次
1 文明人とその歴史
2 中石器時代と初期農業社会
3 河谷
4 中米 クレタ
5 新しい宗教
6 結論

primary civilized societies　旧大陸 5　新大陸 3

旧大陸
- 西 Mesopotamia, Egypt) B.C. 6000～6500　1, 2
- Creta ~~[illegible]~~ B.C. 3000　3
- 東 India, China) B.C. 3000～4000　4, 5

新大陸
- 中米　6
- アンデス　7

他の separated societies
メソポタミア
エジプト　→ ヘブライ、ギリシヤ、ローマ、イラン
クレタ　ビザンチン、ヨーロッパ、イスラム、ローマ

primary civilized society　洪積世(氷河時代末)沖積の steppe 地帯 *
~~primary~~ primitive society と civilized society との区別

1. scale の大きさ　complexity 大
civil. society は primitive society を何千何百と合せた大きさ
内部の機能の分化
2. 文字の存在の有無　これは旧世界にはあてはまるが 新大陸にはあてはまらない なぜなら primitive society には文字がないと云えるが その逆は云えない
3. 都市 (town) specialist の集合としての town の発生
併しマヤには city がない.

Fuji　maya には~~[illegible]~~ ごっつい神殿があるけれども それは都市といえるか
Uey　theocratic city を Coulborn は city とはみとめてない様である city の條件として
商や交易が入ることが重要だとしている様に思える
Fuj　maya にも full time specialist はあった様だ
Uey　Coulborn の都市の定義は不明確な様である
Ima　文字がなかったけど ナワを maya は使っていた 云いかえると宗教文字とか 何か communication
の道具がない限り 文明とは~~[illegible]~~云えないのですね
Kaiz.　Indian の絵文字などを文字とはみなさないのか
Uey　Indian の絵文字は入って居ない様だ
Fuj　maya の場合解読されてないけど文字はあった
Kaw　伝承の専門家があってもそれではだめか
Kaiz　口での伝承には限界があるだろう

4 社会の周期的昇降のリズムがちがう　primitive seasonal
civilized 1000年位の単位の消長

5. 社会変化の比率がちがう.
自然へのcontrol 人.

Uey　ぼくらのシェマで言うと Ⓐ と Ⓑ との ちがいを言っている様なものである

	同	異
東	Ⓐ	
西		Ⓑ

二章のはじめ
初期の農業の開始　中石期時代
（温暖化という）
はじめ近東 中東、サハラ、イランに人類がいたが環境変化のためそれの adaptation の方法として農業をはじめたという考え

Ima　これだけではわかりませんな
Kaiz　近頃は中石期が段々重視されるようになって来た
Iwa　hunter がこういう environment の変化で agriculture に入ったというのか
Uey　という crisis の考え方だ
Kaw　crisis 説は本当らしい所があるけれども この環境変化は非常にゆっくりしたものでしょ
短期の変化なく crisis という ~~~~ いい印象もあるけど
Fuj　寒から暖になるとき北上する先生が禾本科植物であるということはないか. そうならそれについて上ったということがいえないか. ~~上に~~ 北に上がってゆくところどこかあたりに開けていたということがないか.
Ima　crop を食用にする様になったということと 文明をもち都市に住むということとは別である
Uey　乾燥化は BC. 5000 — 4000 である.
Tan　Wissmann は hunter は migration が環境変化に対する response だが farmer はある岩窟に migrate で来なかった irrigation をはじめたという説
Uey　クールボーン は 初期 farmer は移動していたという 定着. crop生産. がないと都市は出来ない
Kawa　crisis 説は面白いがこれをあまり使うとマユツバになる
Ima　Valley のところで何か言わんと (Coulborn の Valley の章のこと) Valley のところだけは oasis 的とちがう continuous な Valley においてはじめて人口を多く収容出来る city が出来るのだと思う
Kaiz　チャイルドは 都市文明の生れる地理的条件として 新石器の valley 非常な乾燥 と 夏期の高温というものをあげている それがそれぞれの Valley ~~地帯~~ 地帯
Kaw　civilization の栄えるときの optimum size というものがあると思う
日本の場合石川谷は古墳群があるが, 石川谷の大きさが civilization 成立のための optimum size であり それが ~~奈良~~ 大和平野においてゆくのではないか.
Kaiz　civilization はあまり大きい所では生れない optimum な condition というものがある
Kaw　余談ですがね 大和盆地には全国の地名を写した地名がものすごく多い 小日本の様な観を呈しているけれどもこれはどういうことですかね
Kaiz　領土国家である近代の Europe の国家にくらべて Valley civilization の size は小さい. ナイル河谷の幅は何マイルあるか知らん fertile だけれども とても小さい. mesopotamia でも小さい 勿論未開社会にくらべると大きいけれども.
~~Oma~~　city というのはかたく団結している tight society といえるだろう.

國家のタイプ
Uey　國家のタイプについて ぼくらが考えたそのことで とくに中国について見当をおきましたが

Oasis 國家　巨大oasis. 巨大国家. 巨大Empireの興亡.
Forest 国家　ヨーロッパや日本 南方の熱帯

1. オアシス型国家（O型） 中国の場合春秋戦国時代まで それは地中海中心の都市国家に似ている.
2. OF型国家 Oを中心としてFを従えてゆく その典型は帝制ローマや支那は漢以後
3. F型国家 ~~ドイツ~~ ゲルマンの地域. ヨーロッパや日本 支那でいいますと宋
4. FO型国家 典型的な feudal 国家を基礎にして capitalism をのばして
ヨーロッパの様に tropical をとって ~~来~~ 行くもの
日本 Moscow 公国よりずっと expand したもの
アメリカもそう
中共や国民政府は南が中心ではないか

こういう型が歴史的順序でドミナントなものとして出てくるのではないか.
これを中国史でみてゆくと　O　OF　F　FO
殷と周　漢　.　宋　明 中華民国 中共
南北朝時代にFへの芽 唐代に南へ根を下す.

どうして F に feudalism がでるかが問題 支那~~[illegible]~~と日本との関係をこういうようにして分解してみてゆくべき. Europe とちがう

Kaiz Max Weber は feudalism を二つの型に分類している
grund
固有の意味の feudalism の関係) そこにむすびついてくればよい
F.O がむすびついてくる

Uey ヒンツェが同様にやり feud. の固有なものはここだけにかぎっている feudalism の意味を狭義にしぼって Weber は古代にも feud. があると考えて周にもそれを考える

Kaiz 一方 city もあるが city と feudalism との関係が類型化していない

Uey 全日とちがい都市に依存する feudal relation という土地支配でなく個人的なものを中心に考えている 日本やゲルマンの feudalism と大分ちがう 城や都市も含め feudalism を O型と F型と分けられたらよいが～

Kaw. 周は都市国家時代とみるのか

Kaiz Weber の見解では周は feudalism でもあり都市国家時代でもある

Kaw F は feudalism を固有に考えているようだが feudal を発展させる O 型の stimulus がいる しかし土壌的にはそうでないというのじゃないか

Imai 統制の原理と慣習の原理を説明してやれ

Kawa 川喜先生~~まの~~の前で ちょっと結果を述べますけど ~~まあ~~ ~~Kaiz まあどうぞ~~

Kaiz まあどうぞ 僕に特に自信がある訳でないが

Imai 今日は ちょっと遠慮しておる

Kawa 人間が social に共同するに三つの principle しかない
統制 principle rational
慣習 〃 traditional
個人の 〃 個人の initiative による
どの社会にも この三つが必要 しかしどれかに stress をかけてタイプができて来る
個人に強調をかけたもの 早期キリスト教社会のごとき
統制 〃 第二地域 皇帝と官僚 共同するにたての differentiation よこの deviation
rational centralization
慣習 〃 第一地域 動物が印をふみつけたが分別せなんでなく アグリゲーションが多く慣習ができて来る band は logical には説明出来ない feudalism はこういう stress をかけたもので localism がつよい
face to face cooperation

何故 この様な区別が 第一第二地域で考えられたかわからぬ
第二地域は民族の南方遊戦がある その統制のために abstract な法律ができずるわけなのだろう 日本 Europe 潜在的 traditional これは村 しかしそれもでなかったところでわかるのではないか 日本の村は山と谷の combination 村の territory は ecological tight 大陸法に地縁的性格がある 水田農耕に比べ水田と山林との combination は蓄積的 historical なものをもたせるのではないか

Kaiz 統制と慣習 Weber の ~~[illegible]~~ herrschaft 分類では
legale rationale Herrschaft — Beaurocracy
irrationale Herrschaft — Feudalism に対応する
中国は統制に偏している

Kawa 中国 super structure をみると 統制 下をみると 郷村主義 でその二つが heterogeneous にある

Kaiz そこが point なんですが
Europe にもそういうものがあるでしょう 古今と慣習格でしょう 慣習的なものの上に統制的なものがあり 複雑な結合をしたのが中国という

~~[illegible]~~ 西洋人は都市国家を rational Herr と考えるでしょう 古代国家は一方では irrational です どちらか~~[illegible]~~一方に入れにくいところがある

Uey Weber は超歴史的でなく中心を近代比較においている

Kawa F型の Europe が feudal 的近代に移るところで casting vote をにぎっていたものとして custom に face to face relation による個人の阻害されていた自由というものがないと一層たくて そこに個人が登場して来るという 株式会社をつくったり voluntary なものをおこす要因がねたっていた

Kaiz Europe 固有の意味での feudalism は個人と個人の関係である 死ぬとまた別に ~~[illegible]~~ 誓約する 個人と個人との関係が西洋封建制の中へ 個人がそこにでて来る 個人と個人の結合が東プロイセンでは発達しない 族縁的 sippe 結合がつよい所では固有の意味の feudal relation は阻止される 中国的 feudalism は東ドイツ型か 固有の西洋型か 中国は完全な個人でなく族的結合がつよい 周の封建制の特徴は ~~[illegible]~~ 西の民族が東を征服したところにある traditional Herrschaft の一つの型として feudalism がある 日本の feudal は西洋を ~~[illegible]~~ ちがい 南北朝の様に親父と子とが別に立っている 日本は唯一の東洋で西洋型に近いにもかかわらず 族的結合もつよい

Kyoto University

Kaiz　マックスウェバーは Kustenkulture ということをいいますね　トインビーはローマ文明の範囲は狭くて内陸へは入れない　そして german に対してガリアの地に入るのもとても弱いといっている
国家形態の分類でよいまい　~~oppen~~ オッペンハイマーのものがある。
海国というのは今西 theory では Oasis 国家の Variety になるのかな　沙漠を海のと考えるのは大変よいと思う　よく似ている

Uey　オアシスは海の port とみない　オアシス国家と地中海の port city とおくといい　メソポタミアは運河にそった国家で　その場合河にそったオアシスと考える

Uma　Fは面として拡がる力がある。そのためしまいには うんと多い population を狭い範囲に含みうる　そのため開発がすすむと非常に強力な国家ができる

Kaiz　中国のオアシス国家の特質として　中国の黄河は多くの支流をもっている　city が割合小単位としての凝集度はメソポタミアに比べて弱い　しかし非常に広く分布しており　黄河の支流にずっと分布　そのため一度統一されると　その面積はメソポタミアよりずっと広い
中国のもう一つの都市の特色として　都市の排他性が少い・ギリシアは exclusive であり　異国の地へゆくと経済行為が出来ないのに　中国ではそれはない。ひろがり大凝集度が
凝集度小ということは feudalistic になりにくいということでしょう．

Uma
Kaiz　都市国家の独立性弱い

Kaw　city stage の typical といえる stage は一つしかない mesopotamia であり　他にあるものもそれと同じ道をへて出来た様だが　次の時代の ・テリトリアル国家の芽をもって出現したものである　という様なこと、あるいは全く独自なものといえないか

Kaiz　Frankfort と Jacobsen の Before philosophy pelican Lib. はメソポタミア、エジプト、ヘブライをとりあつかって面白い
そこでエジプトは1つのノモスがあったが　知らぬ間にファラオがあって来て集中され　地方性がなくなってゆくところがちがっている　同位の文明だが　ファラオは~~中央~~集権化され神にまでなる　メソポタミアは神と人間との仲介者的存在　人間的 character をもつ
、Mesopotamia では同格の都市国家たくさんあって一つが覇権をとるのをおそれる。
支那は エジプトとメソポタミアの中間形かな

Kaw　生き神をつくったのが　一つの都市の守り神が大きい領土をもてるのではないか

Tan　メソポタミアはあとで神さまを作るでない

Kaiz　しかしやはり人間的

〇型段階で
- エジプト型
- 中国 〃
- メソポタミア 〃
- ギリシア 〃 という順になるのでないか

Jacobsen の古代メソポタミアについての研究は名著である

~~[illegible]~~
Uey　~~カロリンガ~~ OF から F に移るところで　ヨーロッパではカロリンガに移った時　ローマはダウンするところが中国ではずっと OF はくっついている

Shim　ローマということで考えるのはむりでないか　中国でも南支が F　北支が O．支那に対する
ローマでなく ヨーロッパというべきでしょう
ローマが F に入ってゆくのは大したことないでしょう

Tan　ローマンロードをつくる程の富が分散された　そしてローマがつぶれたあと　メロヴィンガはその富の
くいつぶし　カロリンガに於て下への支配つよく土着化してゆくのだと思う　そして F型国家ができる。

Uey　これに合わせようとすればむつかしいが F型の形態をみてと　メルセン条約 [illegible]

西ローマ　OF型
- フランク王国 ── 東フランク　ドイツ
- 　　　　　　　 ── 西フランク　フランス
- アングロサクソン王国 ── イングランド王国
- ロンバルド王国 ── イタリア王国
- 西ゴート王国 ── コルドバ 回教国 ─ スペイン ポルトガル

東ローマ　O型 ── トルコ帝国
　　　　　　　 └ イワン ロシア

ビザンツは北中国に似てないか
フランク王国と南宋　国家形態似ている

Kaw　地中海のローマ的世界とアルプス以北と　社会的文化的 tradition は元来ちがっている　上の四つは　南からローマが F 地域の~~[illegible]~~に加った contact line．
ローマが agressive で でてきたが世界の中で文化をもらしてできたのがフランク、アングロサクソンであり　ロンバルド．西ゴートは逆に北から南におりて来て出来たもの。そういう風に考えないか　他律文化みたいな

Uey　上の図の 北伊、南伊西ゴート、~~[illegible]~~中間地帯ではじめ O型の中に中心があり
のち近代イタリアになると F地域の中心がうつる。

Kaiz　OF がでてきたところで Europe の文化は OF の合併からはじまる feudalism は800年後に　feudalism というものをどう考えるか

Uey　feud. は一応 typical に F ででると考える

2月16日　つづき

Tan　以前は族的結合がつよく それがだんだんうすくなってくるか分解してゆく。分解する途中早いところで国家ができて来ると 分解がとまるということはないか 官僚制ができてくると

~~[illegible]~~

Kaiz　ドイツはそう云う形 [illegible] ずれているのに やはり feudalism とちがうでしょう

Kaw　族的結合といっても 日本の同族は地縁的で擬制した関係が多くある 中国は血縁的な血でむすびついている

Kaiz　中国の family は religious family という かなり離れていても同姓ならばめとらない 同姓めとらずという principle がある. 別に血つづきではないのに.

Kaw.　Kin group の延長にあるものですね 血縁地縁を拡大してその中でしか考えない. 株式会社は同郷か同族でないと一緒になれない.

Uey　Europe と日本と似た点 個人—個人関係がつよい. メロヴィングでローマ法の支配が入っている ~~その justification が[illegible]~~ それで同族関係がくずれる ローマ法的個人主義原理が 習慣はちがいながら入って official な個人主義原理をもった時期を考えることと関係ないか. 自然法 common law が出て来ながら.
大化の改新以後 班田収授から地方豪族に入るとき臣下の誓いをする. 共同体からのがれて中央へ入ってゆくとき その justification ~~[illegible]~~ を大事とする その justification を通じて族的なものが解体してゆくのではないか

Kaiz　feudalism とはばらばらなものをもう一度結合さす結合原理ではないか
feudalism は作ってゆく関係が維持してゆく原理ではない様だ 地方政府では それを~~[illegible]~~長くつづけることはできない 不安定の中できめて固めるものになるが 長くつづけるものではない 分解しつつかためる原理であるように思う.

Ima　統一国家がみだれるとその regionalism を再び統一させる 統一原理としては不適当で一時の秩序を保つためにはその様な時には地方分権にしなければならない

Kawa　もう少し positive に　feudal は筋肉を発達させる ~~[illegible]~~ 原理
central は脳みそを発達させる　原理
いくら脳みそが発達しても body 筋肉が発達しないといかん. そのため中央文化を分散し筋肉を作る. 筋肉で部分をこやし また より強い脳を作るという様なところはないか

Shim　あの統制慣習個人という 3原理をパラレルにおくのは少しおかしいではないか. custom による結合は統制より低い integration の方法ではないか Oasis は上から~~[illegible]~~ 統制が出来るけれども forest ではまだあかんという

Kaiz　封建制は disorganize する社会でおこる. disorganize により地方分権により地方が段々成長してゆく。封建制の中から近代国家が出て来るという点ですね 川島さんが云ったのはそうだな

Uey　absolutism が出て来る.

Shim　disorganization でなくてもともと organization は sippe しかなかったのではないか

Kaiz　ローマとかの centralization があったのではないか

Ima　centralization ばかりやったためでフルシチョフは地方にも力を与えた 日本は feudalism で地方に energy がたまっていた.

Uey　~~[illegible]~~ 藩制がひかれたのをみると 律令下では出来なかった様な地方の開発が出来た

Kaw　feud の延長としての近代資本主義社会のじぐざぐのゆき方には時間がかかる 事今一下では出来ない absolutism では文明の発展としては大きい area が integrate されねばならぬのは Europe みな同じ条件であったと思う. ところがフランスが easy going に早く大きい統合を始めた 南ヨーロッパは早く 大陸諸国がおくれをとった. ~~[illegible]~~
イギリスはそれに反撥なしくずしに feudal を脱したと思う.

Uey　それはそうだがリベラリズム思想としては早くあるが, 自由競争が本当に行われたのは~~[illegible]~~ 議会主義以後商主義なんかの統制の2〜3世紀のあとに出ているのだから自由主義は短い. feudalism の typical な時期は Europe でも 2〜3世紀ではないか. 15c になると absolutism へむかう ~~dis~~ 分散の時期は短い

Kaiz　Oasis 地域でギリシャの都市国家はさいごまで対立しあって統一されない. それに対してペルシャは西欧の歴史では悪者になっている ちょうど Sparta が悪者でアテネは善いでしょ. ~~[illegible]~~ ~~[illegible]~~ アケメネス朝ペルシャの中央集権は (アッシリアは搾取などして中央集権的ながら) は大変合理的な官僚制をもっている ギリシャ列うんとよいもの ~~[illegible]~~ 絶対主義のもつよいものをもっている

Shim　ギリシャの都市国家と中国の都市国家とちがいがあると思うが

Kaiz　ギリシャは Solon の改革後僭主がでて来て旧来の貴族制をこわして一種の市民革命がおこなわれる。市民のためでこれが革命的だった ところが中国の場合は旧来のものを残しつつ革命したから維新革命というのです 都市国家の時代で周の国家がくずれて新しい国家が出て来るときが いわば貴族制からの改革期にあたるのです.

Shim　中国や mesopotamia ではすぐその上に大帝国ができますね ギリシャの場合はそうはならない. それは地域が山がちであることとか以外に何か理由があるのですか.

Kaiz　ギリシャでは土地を分けるのにくじびきで分けた. そこに個人主義が生れる 中国の場合市民による自治は出て来ない

Uey　北の方なら均田制が残りますね それとギリシャの割付制との関係はないんですか

Shim　ギリシャの場合はホメロスの中にでて来るので 牧畜の段階で 畑でなどね 周は私有地では

Ima　周は西から出て来たというけれども遊牧民族か

2月16日　つづき

Kaiz　わからんな 骨をみんと。殷の骨は多く出るけれども 体質人類学は中国でよわい。こういうことこそ中国でやらんならんのに。

Ima　周はアーリアン系かも知らん。そんなことわからんか。

Uey　秦ですけれどもギリシヤにとってのマケドニアみたいで 未開の民とちがうんですか

Kaiz　そうです。氏族制をうちやぶって土地の私有をみとめた

Uey　一円支配ですか

Kaiz　家族の分割を奨励した

Kaw　中国の場合あまりの平原的性格のため ギリシヤのように成熟する以前にクラッシュが来たということはないですか。

Kaiz　中国の県は一万戸位。人口四～五万　日本の城下町は漢代の県が標準なんです。中国の古代の都市国家が一～万戸で その後県といえばその範囲を指すことになった 川に面した土地のよい所に出来た、定住しており漢にまでつづいたのでしょう。唐になり開発が進められたのです。

日本とのちがいは戦国になっても大阪や堺以外は城といえばアクロポリス 支配者の所でしょ。太閤秀吉が城をつくるが 市民の家のある城なんてない。そもそも城がないでしょ。山の上に石垣があるだけ 水野君にいわすと 日本では濠をつくったらよいというのです。城壁より水で分ける。

Kaw　Europeの Feudalism と日本の feudalismのちがいについて上山さんは 町人ができているかいないかで分けたが 西欧では都市国家でなくても Burg があり、日本ではそれがなかったということはないか

Shim　Burg というなら 日本の城も Burg ではないか

Kaiz　日本はあの頃まで 何々の庄といって荘園でしょ。戦国になってから町ができた。白川村は白川の庄でしょ。庄は はかたまって集落をなしている。しかし日本は支那とちがって異民族が入ってこないからむちゃな戦いはしないでしょ。平和だった。メソポタミアや中国に較べるとその残虐さは知れているのとちがいますか。

Kaw　それで思うのですが 日本みたいに荒されない国は 日本のほかにスカンヂナヴィア位じしか。

Kaiz　イタリアの町など岩の丘の上に建ててある あらしあいをしたんやろと思う

Tan　Europe でもフランクとかあっちゆくと川岸ですよ

Kaiz　しかしそれでも中洲にありますよ。

Kaw　あらされるコースは Danube を通るあれ。もう一つは Steppe よりゲルマンがあたると あら荒されて 少ないのだと思う 少ないた範囲がロシアと思う

Kaiz　スイスなど真中にあるからあらされない あらしに行った方ですね

Ima　海岸すべて攻めこまれても 奥へ奥へにげたら負けへんというのは支那みたいなもんや

Kaiz　抵抗ができるんや 日本なんかでけへん

Kaw　Siegfried のスイスについてのものを読んで感じた スイスとドイツとのちがいをよくかいている スイスは荒されへんという感じです

Ima　feudalism というのがクールボーンのをよんでも解らんなんでや いろいろきかしてもろてはっきりした

Uey　クールボーンはあまり理論的でない書き方ですよ

Kaiz　アメリカの social anthropology の限界でしょうね 分けるのはうまいけど

Uey　かんじんをとるみたいや

Kaw　feudalism が成立するのにF型地域でという場合、純粋型的なものですか

Kai　公家制度に対する武家制度でしょ。公家制度は西においては大陸国家は長い伝統をもっている それを日本にもって来た訳ですよ。明治維新と同じことでしょ 奈良朝の日本の生活水準を中国のそれと比べると非常なものだったんですよ それにみなまねたんでしょ 奈良の律令にしたって 中々合理的な制度で 明治維新以後の日本が文明開化でやって憲法政治というのと世の実情がはなれておった訳でしょ それよりも もっとひどかった訳ですよ。人工的につくった中央集権はどこかで具合のわるいところがでて来るでしょ それが武家制度の地方分権制になる理由でしょ 日本のいいところは ひらけおう 1回りとげるやりとげるけど具合のわるいところがあります

Shim　それは中国でも同じでないですか 唐のあとで節度使がでて来る

Kaiz　しかし支那では地方分権ができてながら長つづきしない 影響的にない力の家 日本の中央集権の中央はノミナル。~~中央統一~~ ときおや意をたよる 手によその勢力は地方の末端に入らない

Uey　畿内では強い訳でしょ（中央のばあい）

Kaiz　畿内は力が入っているが すこし地方に入ると全然　日本は議会でアメリカをみるんでよ。New York 州というと日本の半分位の大きさでしょ。中国もそれと同じですよ 畿内から何十里離れたらどこにいるかわからないみたいなもんです

Ima　パキスタンやインド同じげりよるのは国が大きいゆうことや

Uey　いまおっしゃったこと 中国の文化が日本に入ってくる所 ヨーロッパのとにていませんか メロヴィンガーなど

Kyoto University

2月16日 つづき

Kaiz でもヨーロッパでは pax Romana といって 新聖ローマ帝国が成立 分裂しながらヨーロッパは一つという考えがあるでしょ

Uey でも日本の場合ふきだすのはいつも支那でしょ。"模範"が南北朝とか平城宮など

Kaiz 南北朝というのはなんででて来たか。それはどちらが正統かということで争った。これは宋学の理想：正閏論 それをもちこみよって日本はえらいもので ~~[illegible]~~ マルクシズムを入れちゃうと困って.

— 以上 2月16日研究会終了 —